



タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3526		
科目名	刑事政策		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識 10% E1学識と専門技能 50% G1状況把握 10% I1理解・分析と読解 10% I2量的分析 10% I3情報分析 10%		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し、以後35年余にわたり警察庁での治安政策立案と都道府県警察での治安対策実施に従事した経験を踏まえ、刑事政策の現状と課題について具体的に説明します。（第8、10～14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	犯罪を予防し、犯罪者に刑罰を科し、その矯正を図り、社会復帰を促進して社会の秩序を維持し、再犯を防止し、被害者を支援する刑事政策は、安全で安心に暮らせる社会の実現のため極めて重要な役割を果たしています。特に最近では、再犯防止推進法が制定される（2016）など、再犯の防止が犯罪対策の重要なテーマとなっています。刑事政策における様々な取組と今後の課題について具体的事例を取り上げながら考察することで、犯罪対策に関する基礎的な議論ができるようになることを目指します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 （キーワード）刑事政策・刑事司法・犯罪理論		
授業の趣旨	■ 副題 犯罪者の矯正・更生保護による再犯防止政策を学ぶ。 ■ 授業の目的 犯罪の原因及び予防に関する理論、刑罰の目的、受刑者の矯正・更生保護を中心とする刑事司法システムについて理解を深める。		

	■授業のポイント 犯罪理論の発展や刑事政策の変遷を踏まえ、現行の制度や政策を立体的に理解する。														
総合到達目標	■一般目標（GIO） 犯罪理論が具体的な制度・政策にどのように反映されているのか、また、受刑者の再犯防止のために国家・社会・個人が果たすべき役割について、自分の言葉で説明できるようになる。 ■個別行動目標（SBOs） ・主な犯罪理論の内容とそれが反映された制度・施策について説明することができる。（第3、4～6、12～13回） ・刑罰の目的について説明することができる。（第4回） ・犯罪者の処遇の概要と課題について説明することができる。（第5、6、8～11回） ・政府の総合的再犯防止対策について説明することができる。（第12回）														
成績評価方法	■授業内試験2回（60%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3 （評価の観点）理解の正確さのほか、記述の論理性・体系性を勘案して、講義内容の定着度を評価します。 （フィードバックの方法）試験終了後、授業内で論点等を解説します。 ■小テスト2回（30%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3 （評価の観点）シラバス記載の復習事項を踏まえて出題し、講義内容の理解度を評価します。 （フィードバックの方法）次回授業時に解説を行います。 ■授業参加度（10%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3 （評価の観点）積極的なインプットによる授業貢献度を勘案します。														
履修条件	ありません。														
履修上の注意点	刑事司法制度に関する報道等に関心を持って積極的に接してください。														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 「刑事政策」の目的、主体、客体、方法等について概観しながら、授業の進め方（カバー範囲）と評価方法について説明します。（E1・I1） ③予習（60分）シラバスを読み、学期全体の講義の流れを把握しておく。 ④復習（60分）講義全体の構成を踏まえて、自分なりの学修計画を立てる。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 刑事司法制度の概観 ②授業概要 ・犯罪認知から更生保護までに至る我が国の刑事司法制度の概要とその運用の理念について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書（令和3年版）28、31、37、49、67、117～120頁を読み、刑事司法手続全体の流れを把握しておく。 ④復習（120分）刑事責任の程度に応じた様々な処分（処遇）について、警察、検察、裁判、矯正の各段階ごとに要件と内容を簡潔にノートに整理する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 犯罪原因論 ②授業概要 伝統的な犯罪原因論の内容とその変遷について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、各理論の問題点を考える。 ④復習（120分）犯罪の原因に関する主な理論の内容とその評価（批判）をノートに整理する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 刑罰制度 ②授業概要 現行法上の刑罰と刑罰制度の在り方をめぐる議論について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、指示された問題について自分なりに考えてみる。 ④復習（120分）死刑廃止論と日数罰金制に対する自分の考えを理由とともにノートに整理する。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 受刑者の処遇 1（施設内処遇） ②授業概要 刑務所等の刑事施設内における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書第2編第4章（49～66頁）を読み、分からない用語があれば調べておく。 ④復習（120分）矯正処遇（作業、改善指導、教科指導）の内容と刑事政策上の意義をノートに整理する。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①授業テーマ 受刑者の処遇 2（社会内処遇） ②授業概要 刑事施設外における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 「刑事政策」の目的、主体、客体、方法等について概観しながら、授業の進め方（カバー範囲）と評価方法について説明します。（E1・I1） ③予習（60分）シラバスを読み、学期全体の講義の流れを把握しておく。 ④復習（60分）講義全体の構成を踏まえて、自分なりの学修計画を立てる。	2	①授業テーマ 刑事司法制度の概観 ②授業概要 ・犯罪認知から更生保護までに至る我が国の刑事司法制度の概要とその運用の理念について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書（令和3年版）28、31、37、49、67、117～120頁を読み、刑事司法手続全体の流れを把握しておく。 ④復習（120分）刑事責任の程度に応じた様々な処分（処遇）について、警察、検察、裁判、矯正の各段階ごとに要件と内容を簡潔にノートに整理する。	3	①授業テーマ 犯罪原因論 ②授業概要 伝統的な犯罪原因論の内容とその変遷について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、各理論の問題点を考える。 ④復習（120分）犯罪の原因に関する主な理論の内容とその評価（批判）をノートに整理する。	4	①授業テーマ 刑罰制度 ②授業概要 現行法上の刑罰と刑罰制度の在り方をめぐる議論について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、指示された問題について自分なりに考えてみる。 ④復習（120分）死刑廃止論と日数罰金制に対する自分の考えを理由とともにノートに整理する。	5	①授業テーマ 受刑者の処遇 1（施設内処遇） ②授業概要 刑務所等の刑事施設内における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書第2編第4章（49～66頁）を読み、分からない用語があれば調べておく。 ④復習（120分）矯正処遇（作業、改善指導、教科指導）の内容と刑事政策上の意義をノートに整理する。	6	①授業テーマ 受刑者の処遇 2（社会内処遇） ②授業概要 刑事施設外における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2）
回	内容														
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 「刑事政策」の目的、主体、客体、方法等について概観しながら、授業の進め方（カバー範囲）と評価方法について説明します。（E1・I1） ③予習（60分）シラバスを読み、学期全体の講義の流れを把握しておく。 ④復習（60分）講義全体の構成を踏まえて、自分なりの学修計画を立てる。														
2	①授業テーマ 刑事司法制度の概観 ②授業概要 ・犯罪認知から更生保護までに至る我が国の刑事司法制度の概要とその運用の理念について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書（令和3年版）28、31、37、49、67、117～120頁を読み、刑事司法手続全体の流れを把握しておく。 ④復習（120分）刑事責任の程度に応じた様々な処分（処遇）について、警察、検察、裁判、矯正の各段階ごとに要件と内容を簡潔にノートに整理する。														
3	①授業テーマ 犯罪原因論 ②授業概要 伝統的な犯罪原因論の内容とその変遷について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、各理論の問題点を考える。 ④復習（120分）犯罪の原因に関する主な理論の内容とその評価（批判）をノートに整理する。														
4	①授業テーマ 刑罰制度 ②授業概要 現行法上の刑罰と刑罰制度の在り方をめぐる議論について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前配布資料を読み、指示された問題について自分なりに考えてみる。 ④復習（120分）死刑廃止論と日数罰金制に対する自分の考えを理由とともにノートに整理する。														
5	①授業テーマ 受刑者の処遇 1（施設内処遇） ②授業概要 刑務所等の刑事施設内における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2） ③予習（120分）犯罪白書第2編第4章（49～66頁）を読み、分からない用語があれば調べておく。 ④復習（120分）矯正処遇（作業、改善指導、教科指導）の内容と刑事政策上の意義をノートに整理する。														
6	①授業テーマ 受刑者の処遇 2（社会内処遇） ②授業概要 刑事施設外における犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1・I2）														

	③予習（120分）犯罪白書第2編第5章（第5節を除く。）（67～93頁）を読み、分からない用語があれば調べておく。 ④復習（120分）施設内処遇との対比における社会内処遇の意義及び社会内処遇の受入れ態勢とその課題をノートに整理する。
7	①授業テーマ 中間試験と前半のまとめ ②授業概要 第6回までの講義内容から出題し、試験終了後、問題の解説を通じて講義前半のまとめをします。（C1・E1・G1・I1・I2） ③予習（240分）第6回までの講義内容（教科書、配布資料、ノート）を見直しておく。 ④復習（60分）解説に基づき答案を再構成する。
8	①授業テーマ 非行少年の処遇 ②授業概要 ・非行少年の処遇について、成人の場合と対比しながら説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1・I2） ・担当教員の実務経験を踏まえて、少年司法手続によるもののほか、少年法等に定めのない警察での処遇についても解説します。 ③予習（120分）犯罪白書第3編（104～151頁）を読み、分からない用語があれば調べておく。 ④復習（120分）非行少年の処遇の特徴について、理念と手続の両面から成人の処遇と対比して簡潔にノートに整理する。
9	①授業テーマ 精神障害者の処遇 ②授業概要 刑罰法規に触れる行為をした精神障害者の処遇について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）犯罪白書第4編第10章（225～228頁）と事前配布資料を読み、現行制度の不備・問題点について考えてみる。 ④復習（120分）現行の医療観察制度の特徴と課題をノートに整理する。
10	①授業テーマ 高齢犯罪者の処遇 ②授業概要 ・高齢犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、高齢犯罪者の取扱い・処遇の難しさについて解説します。 ③予習（120分）犯罪白書第4編第8章（208～214頁）を読み、高齢犯罪者の処遇の問題点について考えてみる。 ④復習（120分）高齢犯罪者の特徴と処遇上の課題をノートに整理する。
11	①授業テーマ 外国人犯罪者の処遇 ②授業概要 ・外国人犯罪者の処遇の現状と課題について説明できるようになる。（E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、外国人犯罪者の取扱い・処遇の難しさについて解説します。 ③予習（120分）犯罪白書第4編第9章（215～224頁）を読み、外国人犯罪者の処遇の問題点について考えてみる。 ④復習（120分）外国人犯罪者の特徴と処遇上の課題をノートに整理する。
12	①授業テーマ 総合的な再犯防止対策 ②授業概要 ・「「世界一安全な日本」創造戦略」、「再犯防止推進計画」等に盛り込まれている総合的な再犯防止対策について説明できるようになる。（E1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、現場での取組を含め、具体的に解説します。 ③予習（120分）参考URL記載の「再犯防止推進計画」（閣議決定）を読んだ上で、居住又は出身の市町村（未制定の場合はどの市町村でも可）の地方再犯防止推進計画をインターネット上で探して国の計画と対照し、具体的施策のイメージを持つ。 ④復習（120分）再犯防止のために民間セクターが果たすべき役割をノートに整理する。
13	①授業テーマ 犯罪予防の理論 ②授業概要 ・犯罪原因論から犯罪予防の理論へ発展した経緯とそれが刑事政策にもたらした変化を説明できるようになる。（E1・G1・I1・I2・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、現場における犯罪予防理論の実践の状況について解説します。 ③予習（120分）事前配布資料を読み、各理論の妥当性について考えてみる。 ④復習（120分）犯罪予防の理論が現実の政策に反映されている具体例をノートに整理する。

	14 ①授業テーマ 犯罪被害者の支援 ②授業概要 ・犯罪被害者支援の刑事政策上の意義と具体的施策について説明できるようになる。(E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、各種要綱等による支援制度についても解説します。 ③予習(120分) 犯罪白書第6編(262-279頁)を読み、犯罪被害者の立場について理解する。 ④復習(120分) 我が国の犯罪被害者支援の具体的施策について、刑事手続への関与、安全確保、経済的負担軽減、精神的被害回復に分けてノートに整理する。 15 ①授業テーマ 期末試験と講義全体のまとめ ②授業概要 講義全体の内容から出題し、試験終了後、問題の解説を通じて講義全体のまとめをします。(C1・E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(300分) 第14回までの講義内容(教科書、配布資料、ノート)を見直しておく。 ④復習(60分) 解説に基づき答案を再構成する。
関連科目	「社会安全政策論RMGT3521」(2年次前学期配当)、「犯罪心理学RMGT3524」(2年次後学期配当)、「警察制度RMGT3525」(2年次後学期配当)、「犯罪と捜査RMGT3529」(3年次前学期配当)、「警察政策RMGT3530」(3年次前学期配当)
教科書	法務省法務総合研究所編『令和3年版犯罪白書』(2021) https://www.moj.go.jp/housouken/housouken03_00049.html
参考書・参考URL	・警察政策学会編『社会安全政策論』立花書房(2018) ・川出敏裕＝金光旭『刑事政策(第2版)』成文堂(2018) ・守山正＝安部哲夫『ビギナーズ刑事政策(第3版)』成文堂(2017) ・藤本哲也『刑事政策概論(全訂第七版)』青林書院(2015) ・法務省「再犯の防止等に関する施策(令和3年版再犯防止推進白書)」(2021) https://www.moj.go.jp/hisho/saihanboushi/hisho04_00009.html ・法務省矯正局「日本の刑事施設」 https://www.moj.go.jp/content/001311951.pdf ・法務省保護局「更生保護～地域社会とともに歩む～」 https://www.moj.go.jp/content/001290603.pdf ・「再犯防止推進計画」(2017閣議決定) https://www.moj.go.jp/content/001322221.pdf
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントを取ることでより研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ100%；災害マネジメント0%；グローバルセキュリティ0%；情報セキュリティ0% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学50%；法学50%

